

多彩に 記念行事

リニューアル 桔梗が丘公民館

新たなスタートを祝う

エレベーターやギャラリーの新設、事務所の拡張や会議室も増設した、桔梗が丘公民館の改修工事が9月末で完了。10月4日からジャズストレッチャや桔梗が丘地区の5小中学校から15人の児童・生徒が参加した「こころの思い発表会」。5日にはコーラス競演、奈良・薬師寺の山田法胤副住職による講演会があった。また、18日には小中高校生のプチコンサート、14日と30日に歴史と健康長寿をテーマにした同館秋季大学も催されるなど多彩な記念事業で完成を祝った。特に1・5両日は、うどん・コーヒーマも販売され、にぎわった。



2008年11月

発行 桔梗が丘まちづくり委員会
 連絡先 桔梗が丘公民館内
 TEL 65-1206
 FAX 65-1206
 Eメール kikyou-ko@emachi-nabari.jp

5472 世帯・14111人
 (10月1日現在)



手作りの資料をもとに発表する中学生

夢や願いを熱っぽく

「こころの思い発表会」今年で12回目の開催。桔梗が丘地区の5小中学校から15人の児童・生徒が参加。運動会で励ましてもらった祖母への感謝、地域住民との交流、甲子園出場にかけた夢、命の尊さ、平和への願い、いろいろなことなどを3、5分にまとめて述べた。

発表は「人を思いやる気持ちが必要だ」「人を傷つけるような言葉は見直してほしい」「夢を実現するためには努力し、あきらめないことだ」など、ほとんどが熱っぽく語り掛ける内容、中には



リレーまちへの思い

桔梗が丘を、より住み良く、より活力のある街にするには何が

まちづくり委総務部長 林田 成吾さん

必要なのでしょうか。

現在、桔梗が丘まちづくり委員会

にかかわっている立場から個人的な見解ではありますが、次の二つの視点が大事ではないかと思えます。その一つは、桔梗が丘の多くの住民が「共感し、共有できる課題は何か？」を間違いない把握し、その実現に向けて活動を集約していくこととです。例えば、桔梗が丘での急速な高齢化問題にどう対応するかも

一体感と共感を

その一つでしょう。二つ目は、桔梗が丘で個々に活動しているグループに共通の活動成果を発表できる、一時的な共通の場を提供することです。例えば、個別に活動している多くの「将棋クラブ」を対象に、年一回、桔梗が丘将棋大会を開催することで、住民としての一体感や共感を醸し出し、また絆(きずな)を深める機会ともなります。

らの声に大人が耳を傾け、住みよい・明るい・元氣な桔梗が丘にしていきたい」と評し、全員に記念品が贈られた。

名張は日本文化の「心」を継ぐ



講演する山田法胤さん

【特別記念講演】奈良・薬師寺の山田法胤副住職が「名張の里と白鳳文化」と題して講演した。天武・持統天皇の伊勢信仰、20年に一度のご遷宮、伊勢



そろいのコスチュームで見事なハーモニー

鍛えたのどを披露

【コーラス競演】方、5日は午前中に桔梗南さわやかコーラスVさくら

斎王だった大来皇女と夏見庵寺の関係や弟・大津皇子をしのぶ歌などを紹介。千甲の乱にも触れて「名張は日本文化の心を受け継いでいる古里です」と述べた。また、福沢諭吉の言葉を引用して「生涯を貫いて仕事のあるのが一番の幸せ、公民館で活動するのも大切ですよ」と話した。ユーモアを交えた講演に参加者らは現代人の生き方や名張文化の奥深さに興味を新たにしている人々もいた。

名張市展の入賞者

- 第51回名張市美術展覧会の絵画・書道・写真・彫塑工芸の各部門で、桔梗が丘地区から次の皆さんが入賞した。(敬称略)
- 【絵画】市議会議長賞Ⅱ「春を待つ里で」石谷淑子(桔梗が丘西六)▽おきつも文化賞Ⅱ「八幡堀(近江)」徳島三樹夫(桔梗が丘二)▽岡田文化財回賞Ⅱ「ヴェズレーの丘」安部律子(桔梗が丘南三)▽努力賞Ⅱ「夫婦の視線」今本忠男(桔梗が丘六)
 - 【書道】努力賞Ⅱ「川瀬絵理子の詩」村手美紀(桔梗が丘西二)
 - 【写真】努力賞Ⅱ「いい日旅立ち」藤原淑隆(桔梗が丘一)、「神秘の湖」今久志げ子(桔梗が丘二)
 - 【彫塑工芸】選考委員会奨励賞Ⅱ「木綿着尺「漣」」長船智子(桔梗が丘五)▽努力賞Ⅱ「象嵌卓模様大皿」喜多勲(桔梗が丘南三)、「地藏菩薩」土井一憲(桔梗が丘西三)

生き生き 健康に

～「桔梗が丘地区まちの保健室」から～

ウォーキングは、歩くことを主体とした健康法です。手軽に行えることから、年齢を問わず広がっています。特徴は、体内に酸素を取り入れる有酸素運動で、脂肪燃焼美容への効果・骨の強化・内蔵の機能向上……また、何と云っても良い点は、気持ちが良いことです。

ウォーキングというより散歩と考えるとよい。こんな場所にこんなものがあつたのか！という新たな発見があるかもしれない。なにより自分に適したペースで続けることが大切です。

ウォーキングで注意してほしいことは、始める前に準備運動をすることです。特に、運動不足の人はアキレスけん・ふくらはぎ・太ももを伸ばし、できれば全身のストレッチを行いましょう。また、水分は必ず取ってください。体調の悪い時は無理をしないように、あくまでも楽しくをモットーに。お気に入りの散歩コースがありましたら、ぜひ教えてください。

ウォーキングに行こう

季節ごとの自然の移り変わりを見るのも楽しく、何となくやる気が起きない時や日々の生活に疲れている時など、そこへ自然のパワーを取り入れると少し違った気分になれます。でも、運動が習慣というより義務になると、段々つまらなくなってしまうので、そのような時は

寸劇や歌でくつろぐ

高齢者のつどい

80歳以上の長寿を祝う「高齢者のつどい」が10月25日、桔梗が丘公民館講堂で開かれた。地区の民生児童委員協議会などの主催で、11回目。桔梗が丘の80歳以上は710人にのぼり、当日は120人余が参加した。

同協議会の梅本久子会長が「みんなで助け合える町であり、



桔梗が丘地区恒例の「高齢者のつどい」

福祉の理想郷に近づくよう頑張っていきたい」とあいさつ。来賓祝辞などに続いて、同協議会高齢者部会のメンバーらが悪徳業者の口車でお年寄りが被害に遭わぬように呼び掛けるコミック寸劇「地域の底力」を披露。会場に笑いを誘った後、食事とティータイムに移った。

午後は歌謡ショーでくつろぎ、まちの保健室が指導する「ふれあい歌声体操」で体をほぐした。また桔梗グリーンクラブの男性コーラスに耳を傾け、全員で「里の秋」「青い山脈」を歌った。

小学生らも長寿を祝う

平成20年度「敬老の日」のつどいは9月15日、名張桔梗丘高校体育館で開かれた。桔梗が丘まちづくり委員会などの共催で、104歳の最高齢者・山村さが



元気に参加した山村さがみさん

みさんら70歳以上の130余人が参加し、長寿の祝いを受けた。式典の後で供宴に移り、桔梗が丘出身の落語家・桂三弥さんが軽妙な笑いを一席。この後、参加者らはまちの保健室の指導で

名張市の新地域自治システムとは ③

これまで2回にわたって「区長制度の改革」や「都市内分権の基礎を担う位置付け」に触れてきた。今回は「地域交付金」とのかかわり、新委員会設置条例の制定、全市の連合組織、行政の支援策などを振り返って

地域交付金と連合組織の構成

度々改革の度々

に併い、現在の「ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例」は廃止し、新たに「(仮称)名張市地域づくり委員会設置条例」を制定、その中に「ゆめづくり地域交付金」を盛りこむ。交付金は現在の基本額(5000万円)を継承、この基本額に加算額を設定。さらに、コミパ

近く地区役員に説明会

近づく地区役員に説明会

ききょう俳壇

散る柳宇治の荒瀬を漂き沈み
綾取りの障子に映る影二つ
この径の所詮踏まる、木の突かな
日巻りの薄くなりけり枇杷の花
迎り来る山の紅葉へ一人旅
衣被土のぬくもり残しをり
お隣の子の連れ来る秋の蝶

9日に健康まつり

歯・健康度などをチェック

第1回ききょう健康まつり

桔梗が丘地区における70歳以上のお年寄りは2136人(7月14日現在)で、前年と比べ85人(桔梗が丘まちづくり委員会保

の増。つどいの参加者には祝い菓子などが贈られた。

健康まつり

は、正午からの「健康まつり」は、公民館の講堂を主会場に開催。歯医者さんの歯チェックや健康度測定・高齢度チェック・骨チェックのほか栄養たっぶり食べ物ビンゴ大会、名張バリバリ体操などがある。

歯チェックなどは無料で、事前申し込みも必要ありません。なお、骨チェックは申し込み希望者を対象に行う。当日は健康茶のサービスもある。お互い声を掛け合っでの参加を呼びかけている。

ききょう俳壇

枝葉 冬の旅潮来水郷見て飽きず
きり子 藤邸の白壁に舞ふ紅葉かな
千恵 一炊の夢に微睡む小春かな
深雪 産土へ日の斑を纏ふ落葉道
和子 山の端の緩き坂道野菊咲く
昂 かにかく碑辰巳橋かけ柳散る
正寛 雪ばんばつかず離れず御廟へと

勝紀
美尚
桜山
善子
小蓑
菜摘
紫香